

環境掲示板

植物観察会

主催 野川公園緑の愛護ボランティアの会

日時 7月5日(日) 13:00~14:30

8月2日(日) 13:00~14:30

集合 野川公園自然観察センター前

申込 直接会場へ

参加費 無料

問合せ 0422-31-9033

靴下からコサージュ作り

主催 ごみ対策課

日時 7月22日(水) 13:00~15:45

場所 三鷹市リサイクル市民工房

定員 8名(多数の場合には抽選)

申込 往復はがきで7月16日(木)

必着でごみ対策課(内線2535)に

Tシャツからエコ布ぞうりづくり

主催 ごみ対策課

日時 7月23日(木) 13:00~15:45

場所 三鷹市リサイクル市民工房

定員 8名(多数の場合には抽選)

申込 往復はがきで7月16日(木)

必着でごみ対策課(内線2535)に

第49回井の頭かんさつ会

主催 井の頭かんさつ会

編集後記

毎年この時期に行われる野川の河川敷の草刈りは、いつも川沿い1m幅は、生き物のため、そのまま刈らずに残されています。生き物にもいい環境を残すためです。人間の利便性だけを考えた行動は、慎みたいものだと思います。(安達)

テーマ 「植物たちの日照権争い」

~つる植物の戦略~

日時 7月26日(日) 10:00~12:00

事前に申込みが必要

参加費 300円

申込み 大原 kapock@parkcity.ne.jp

HP URL <http://www.kansatsukai.net>

夏休み!親子多摩川源流体験講座

主催 社会教育会館

日時 7月30日(木)

場所 山梨県小菅村

定員 市内在住・在勤の保護者と小学生

10組(多数の場合抽選)

申込 7月6日(月)~10日(金)に

社会教育会館(042249-2521)へ

参加費 一人300円

トトロの森自然観察会

主催 環境対策課

日時 8月20日(木) 9:00~16:00

場所 埼玉県狭山丘陵いきものふれあ

いの里センター

定員 市内在住・在学の小学生と保護者

20名(多数の場合抽選)

申込 はがき又はメールで7月31日

必着で環境対策課(内線2525)へ

発行:みたか環境活動推進会議

(愛称 みんなの環境)

連絡先:三鷹市環境対策課

電話 0422-45-1151 内線 2523・2524

E-mail: kankyo@city.mitaka.tokyo.jp

本誌は、市役所、市政窓口、図書館、コミセンや市のHPから入手できます。

みたか環境ひろば 第14号

2009年7月1日発行

花と緑のまち三鷹創造協会

~理事長・濱野周泰先生にきく~

今年の4月に、「花と緑のまち三鷹創造協会」が設立されました。どのようなお仕事をされる協会なのか、理事長の東京農業大学教授濱野周泰先生にお聞きしました。濱野先生は、三鷹に生まれ、育ち、お住まいです。濱野先生は「三鷹の環境のいいところは、農地と樹林地がまだバランスよく残っているところです。また、人的な環境もいい。気になることは、まちなみの景観です。近隣から三鷹へはいると、急に緑が見えなくなる。」といわれています。

協会の設立のねらいは、「行政と市民のつながりをもっとスムーズにすることで。この協会が出来ることで、行政の限界を乗り越え、より市民の活動に近い部分での支援がしやすくなります。今の行政と市民の間でどういう連携なり、関連性なりをお手伝いできるのかを2年間検討してきた、一昨年市長に提言を答申し、その提言に基づいて協会が設立されました。」

市民に対しての期待は、「地域の価値を高める存在になる、無償の奉仕活動です。そういうことをすこしずつ市民に拡げて行きたい。会費の負担がありますが、一般の市民とは異なったサービスを提供したい。」行政に対しては、「緑と公園課の業



務のまち交流会で司会をされる濱野先生務の一部が移管されます。ただその事業は、例えば環境対策課や道路交通課が関わりますから、お役所の運営枠を越えながらアプローチするというにもなります。事業展開の中で行政の壁を越えて活動できるということです。」

最後に理事長として、力をいれることは「参加者自身が充実感を得られ、個人個人の知的好奇心を喚起できるような事業展開をやりたい。情報と人材と人々の志が一緒になる場にしたい。そこから新しい方向性が出てきます。今は少し乱れている社会を、秩序ある社会へ回帰する一助にしたい。」との意気込みをお聞きできました。(安達)

スバルの「電気自動車」は三鷹生まれ

富士重工業株東京事業所

自動車が生きて百数十年、クルマは今や人々の生活に欠くことが出来ない存在です。しかも世界的に見ると、インドや中国などの新興国のモータリゼーションはまだまだ進みますので、自動車の販売や保有台数は今後もさらに増加しているとしています。

この状況下で、私たちスバルは「快適と信頼の新しい走り」と地球環境の融合」を掲げクルマづくりを進めています。将来に渡ってクルマが人々の人生を豊かにするものであるために、今、地球環境との調和を考えた新しいクルマづくりが求められており、ハイブリッド車に代表されるエコカーの話題も頻りにマスコミに取り上げられています。

そうした中、私たちスバルが環境対応の将来技術のひとつとして力を入れているのが電気自動車ですが、その開発拠点には、実は三鷹にあるのです。

電気自動車は、エンジンの代わりにバッテリーに貯めた電気を使ってモーターを動力とするクルマです。走行中にCO₂を排出しないことはもちろん、発電所などで発電される時も含めた「well-to-wheel（原油の採掘から車両走行時の消費まで）のエネルギー利用を見ても、ガソリンやディーゼル車、水素を用いた燃料電池よりもCO₂排出量が少ないと言われています。また、家庭用の



電気自動車「プラグインステラ」

100Vのコンセントに差し込めば携帯電話のような手軽さで充電が可能で、一晩8時間の充電で約90kmの走行が可能と、都市部の新しい移動手段として注目を集めています。

スバルでは、今年2009年7月から電気自動車「プラグインステラ」の発売を予定しています。当初は車両価格が高くなり主に法人向けとなりますが、環境に配慮したクルマを一台でも多く普及させるために、一層のコストダウンや性能向上に取り組んでいます。実証試験で三鷹市内の公道を走行する機会もありますので、「エンジン音のしない静かなエコカーが隣を走っていた」なんてことも既に現実なのです。

将来、多くのお客様にお届けする夢のために、ここ三鷹の地でスバルのエンジンアは新しい技術に挑戦しています。

長年の道路の清掃で功労賞

上連雀一丁目の、篠田柳治さんは、長年の道路の清掃で環境活動功労賞を受けました。現役時代は、転勤から転勤で三鷹のご自宅に帰ってきたのが昭和48年でした。それ以来毎日2、3時間かけ玉川上水べりの約100mを清掃しています。

自分が毎日清掃をしていれば、誰か後についてくる人がいるだろうと思っていましたが、当初はなかなかいなかったそうです。でも、最近は近所の人も清掃に加わり仲間が出来たようです。

自分の住む町をきれいにすることで町のイメージが良くなり、また通勤、通学等で通る人が気持ち良く通行できるようにと考えています。篠田さんは、長年



篠田柳治さん（玉川上水べりの道路で）

竹箒を使っているため左手の小指と薬指が腱鞘炎で少し変形しています。でも毎日の清掃は、満足感そして達成感で気分が良いと言っています。（森）

市役所の窓：わたしと「エコポイント」

100年に1度と言われるほどの不況に対し、大規模な経済対策が行われ、つい先日、省エネ性能4つ星以上の冷蔵庫・エアコン・テレビの3品目を対象にエコポイント制度が導入されました。確かに昔の製品はエネルギーをより多く消費します。その面から見るとエコ商品は、電気代の節約や省エネにつながり、かなり魅力的です。が！！買い替える時に廃棄物が出ることは必至です。果たして環境に配慮していると素直に言えるのかど

うか...と言っても、ポイントは今年度末までの購入分にのみ付与されるということで、善は急げ！新しい物が安くなるこの機会にいろいろ買い替えて、将来のエコに目を向けていこうと思います

でも...文字を比べると「エコロジー」と「エコノミー」。同じ「エコ」でも似て非なるものですね。「環境への配慮」と「消費活動」の両立はとても難しいと思う今日この頃でした。

水道部業務課 國友彩加